

こども家庭庁

SNS もネット動画も、

安心して楽しみたい！

スマホ時間のモヤモヤ、聴かせて！

いけんのまとめ（アンケート回）

開催日：2025年5月19日（月）～2025年6月1日（日）

調査概要

① 調査テーマ

- ・ SNS もネット動画も、安心して楽しみたい！スマホ時間のモヤモヤ、聴かせて！

② 調査対象

- ・ 小学4年生から高校生年代のぷらすメンバー

③ 回収状況

- ・ 回答数：38件

④ 調査方法

- ・ WEB アンケート調査

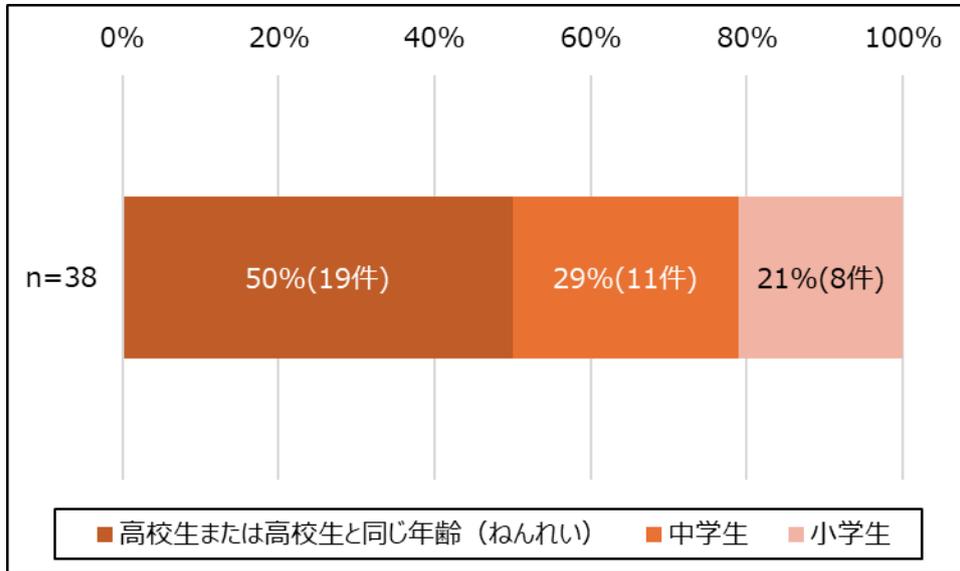
⑤ 調査期間

- ・ 2025年5月19日（月）～2025年6月1日（日）

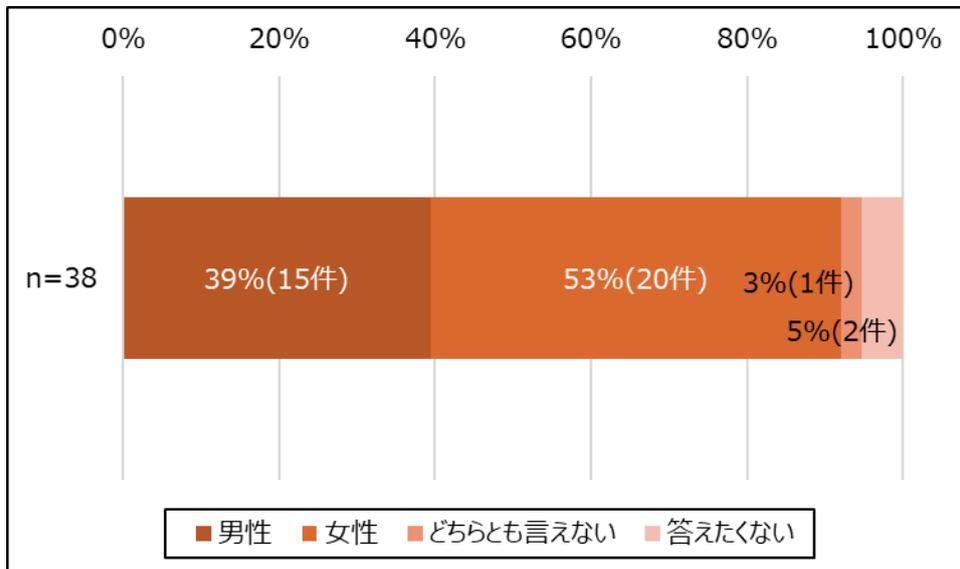
本資料は、いけんひろば参加者個人のご意見を記載したものです。本資料の記載内容は、政府としての見解や評価ではありません。なお、参加者個人の特定や、特定の個人や団体等への直接的な批判につながる恐れがある発言については、発言の趣旨を改変しない形で修正しています

調査結果

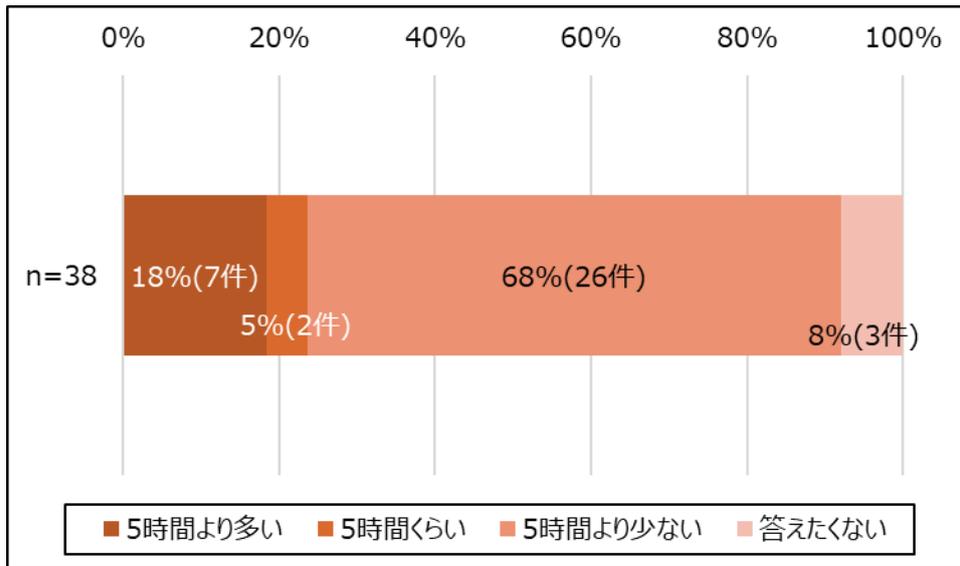
Q1 あなたの年齢（ねんれい）をお答えください



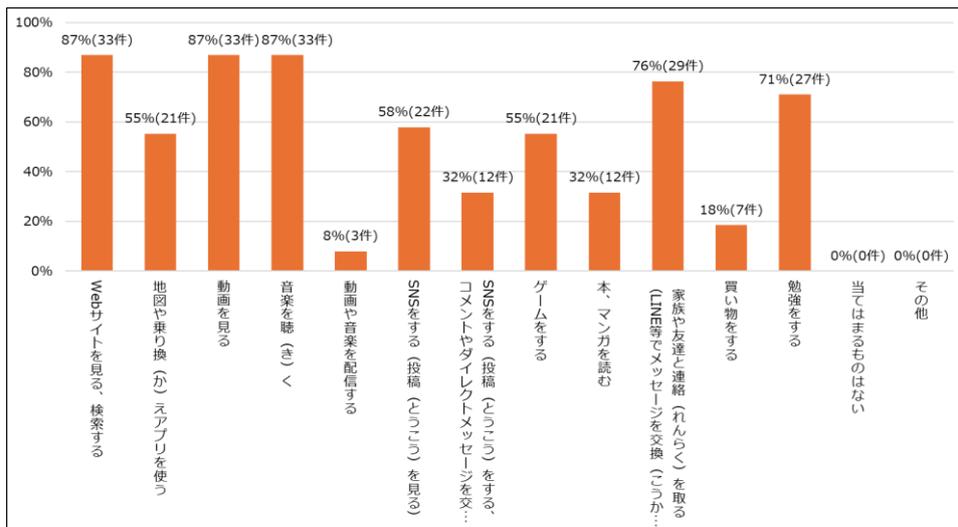
Q2 あなたの性別（せいべつ）をお答えください



Q3 こども家庭庁（かていちょう）の調査によると、こどもの平日1日あたりのインターネット平均（はいきん）利用時間は約5時間です。あなたの平日1日あたりの利用時間は、これより多いですか？少ないですか？使用する端末（たんまつ）（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等）は何でも大丈夫（だいじょうぶ）です。



Q4 普段（ふだん）、インターネットでどんなことをしていますか？当てはまるものを全てお選びください。



Q5 インターネットをしていて、良かったと思うことや、楽しいと感じること、便利なことはありますか？ある場合は、どんなことかを具体的にお書きください。ない場合は”なし”とお書きください。

- ・ 知り合いや他人からメッセージが来るとき
- ・ 僕は小説を書くのが好きなのですが、小説を投稿できるプラットフォームが閲覧できるし、閲覧してもらえることです。読んでくれる人がいると、励みになるからです。
- ・ 友人と待ち合わせするとき
- ・ 友達と共有出来る事が増える楽しみ・想像力 UP し、製作物に反映出来る楽しみ
- ・ 待ち合わせが楽
- ・ 検索するとすぐに情報が出て来て便利

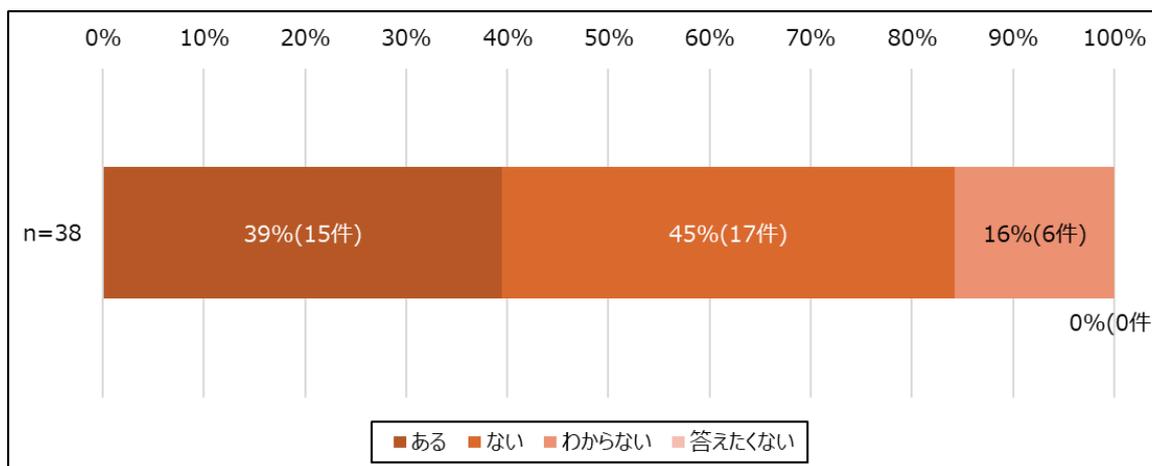
- ・ 学校で取り扱わないような教材が使われており、勉強が面白い。
- ・ マイクラ
- ・ 勉強に活用することが多いです。勉強の分からないことへの解説などを見ることができたり、問題を手軽に解くことができたりすることができて便利です。
- ・ 勉強をしていてわからないことがあった時にすぐ解き方を調べられること。
- ・ Instagram（インスタグラム）では、良いと思ったらいいねなどが押せるので良いです。
- ・ 電車の乗り換えや、親や友達との待ち合わせ、友達との SNS のやり取り、流行にのる
- ・ 友達とどこでも、いつでもやり取りができ、通話しながらオンラインでゲームをやるといったことができる。
- ・ 推しができた
- ・ 調べ物がすぐにできる、好きなコンテンツがいっぱい見れる
- ・ ゲームなどを手軽にできる わからない問題もわかりやすい解説がすぐに見れる
- ・ 分からないことがあっても調べることができる
- ・ 学校の授業のような動画が見れること。
- ・ いろんな情報が知れる
- ・ 色々な人と繋がれて、色々な人と楽しめる
- ・ 暇つぶしができること
- ・ 勉強に役に立つサイトを見れること、SNS を通じて友達と繋がれること
- ・ 自分とは全く違う場所に住んでいる人や全く違う世代の人と容易に繋がれること
- ・ 面白い作品に出会った時には楽しいと思います
- ・ 趣味や推しに関する情報がすぐ手に入る、音楽や動画を楽しめる
- ・ わからないことがあったらすぐに調べることができる。
- ・ すぐに調べ物が出来る。
- ・ インターネットでは、色々な人と繋がることが出来るな一と思いました。例えば Line のオープンチャットつというやつ。
- ・ 友達といつでも連絡がとれること、推しの投稿が見れること
- ・ 初めての場所に行っても迷子にならない
- ・ dm などと同じ学校で話したことの無い人でも話すことができた
- ・ 離れていても家族や友達と連絡が取れる。ゲームができる。
- ・ ストリーミングなどを気軽に見れるのは良かった
- ・ なんでもできる
- ・ 遠くに住んでいる友達ともメールや電話ができて嬉しい。また、勉強をしている人や教えてくれる人の動画を見るとモチベーションが上がる。
- ・ 友だちができた
- ・ おもしろいものや、見ていて楽しいものがすぐ見れるので娯楽として使っている。（推しの動画とか）
- ・ SNS を見ているとこのことも若者いけんぷらすを知った

Q6 インターネットを使う中で、困っていることや嫌なこと（困ったことや、嫌だったこと）、不便なことなどはありますか？ある場合は、どんなことかを具体的にお書きください。ない場合は”なし”とお書きください。

- ・ なし
- ・ 回線が重くいららしてしまうこと。
- ・ 動画を見すぎたりして勉強時間が減ってしまう
- ・ 自分がやるべき事に切り替えが出来ずに、ダラダラと過ごしてしまうので、そんなケジメが付かない自分に困る
- ・ 自分の顔写真が SNS に投稿されている
- ・ なし
- ・ 同級生と連絡を取るとき、相手は少し離れているだけでも、インターネットを使う。直接話してほしい。
- ・ なし
- ・ やめれなくなる。友達との関係に心配や不安なことが増える。
- ・ みんなから LINE などがきて、心が詰まってしまったことがあったこと。
- ・ 何か文字を入力する時に、入力していた文字が全て消えて不便な事があります。
- ・ LINE の未読無視
- ・ 規約が読みづらい、分かりづらい、過剰な制限があるように感じる。
- ・ 誹謗中傷のコメントがあること
- ・ 荒らし行為
- ・ なし
- ・ インターネットが繋がらない事。また調べたい事が出にくい事。
- ・ なし
- ・ 目が悪くなった
- ・ その中には変な人や気持ち悪い人がいる
- ・ SNS を見るとコメント欄が荒れててかわいそうだなってこと
- ・ 本来制限がかからなくていいような内容なのに、制限によって Web ページが見られないこと(例として Youtube など)
- ・ なし
- ・ いろんな情報があって信用すべきか迷う。また、欲しい情報に限って無かったりする
- ・ 性的な広告が出てきて気まずくなること。特に大人の前だと後ろめたい気持ちになる。
- ・ 連絡がすぐにつかないと怒られる。
- ・ 広告が卑猥、偏った誤情報、ヘイトスピーチの遭遇
- ・ はい、オープンチャットでは、にたまあに入ってみますけど、「本名と学校を教えてね！」みたいな感じで優しくそうな人が言うんですよ。そしたらみんな堂々と言っちゃってですね、でもそれってよくないですよ
ね、
- ・ 出会い厨がたくさんいること

- ・ LINE で悪口を送られたこと。
- ・ 詐欺メールが来る、1 日見るとなかなかやめたくなくなってしまう時がある
- ・ 知らない人と LINE アカウントを交換しそうになった。グループラインの通知が大量に来て、読んだら返信をするのが大変だった。web サイトを見ていて、いかがわしい広告が出てきて不快だった。
- ・ 性的な広告がみだりに出る
- ・ スマホ中毒やめたくても、この世界がスマホを必須とした社会であるから難しい。全部スマホだから人のコミュニケーション感じられなくて、孤独が増す。
- ・ 嫌な画像や言葉を SNS に書き込んだりする人がいる。また、夢中になってしまい、他のことをする時間がなくなる。
- ・ ついつい使いすぎる
- ・ ゲームの攻略サイトなど、子どもたちが見るとわかっているようなサイトでもとても卑わいな広告がでてくる、これは本当に不快だし、性犯罪などを助長するようになってきていると思う。規制をしてほしい。
- ・ 誰かの投稿に対して誰かが誹謗中傷コメントをしていた。見ていてとても不快だった。

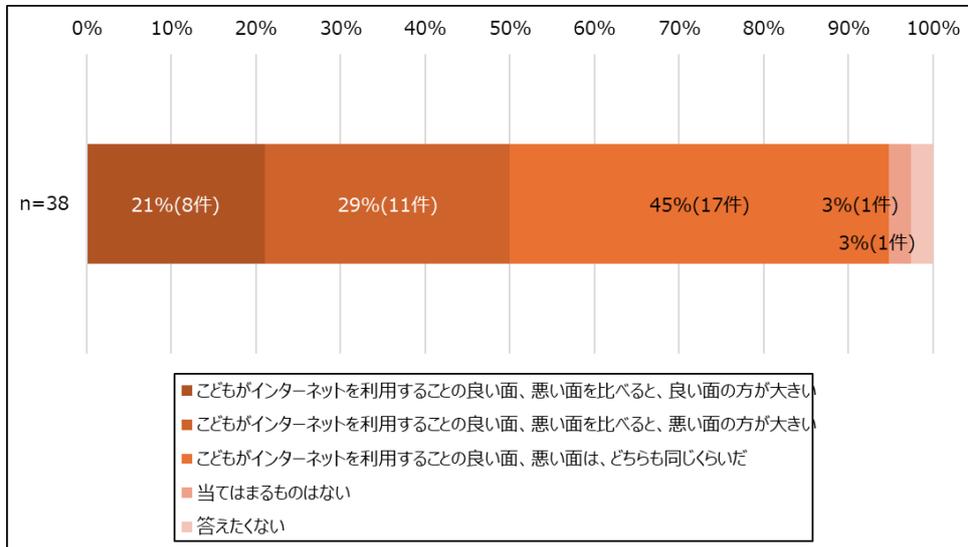
Q7 SNS 等を使用していて、良くなかったと思う投稿（とうこう）や、失敗してしまったなと思ったことはありますか



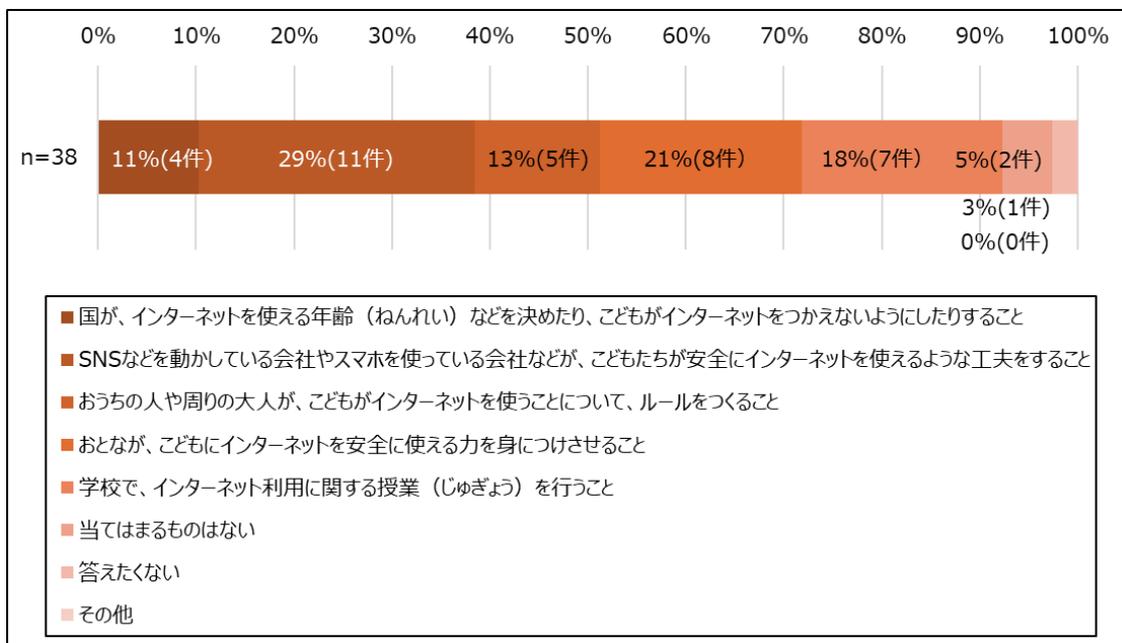
Q8 それを振り返ってみて、気を付けたほうが良いと思うことがあれば教えてください。

- ・ 良く考える
- ・ 知らない人に騙されない様にする
- ・ 何でも試そうとしない
- ・ 勝手にアップしない。
- ・ 個人情報に繋がりがやすいことやセンシティブな話題は、SNS 上では避けること
- ・ 個人が特定できるような写真はまず載せない。
- ・ 愚痴などは sns では書かない
- ・ 写真を安易にのせない。

Q9 子ども（ここでは 17 歳（さい）とそれより年下のこどものこと）のインターネット利用に関して、自分の考えに当てはまるものをお選びください。



Q10 子どもが安全・安心にインターネットを使うために、一番必要だと思うことは何ですか？当てはまるものをお選びください



Q11 安全・安心にインターネットを使うために、どのような仕組みやサポート、授業（じゅぎょう）やコンテンツがあれば良いと思いますか？

- ・ 高校である情報科目の中にあるネットリテラシーの単元を小学校中学年で取り入れたらよいと思う
- ・ 失敗してしまった人の典型的な例を出すこと。
- ・ 被害事例をデジタル上で体験できる
- ・ 色々な仕組みやサポートもあって、アプリもある、授業でも怖さや注意も習っているけれど、それを使うか？守るか？は自分次第なので、自分の課題だと思う。
- ・ はい
- ・ 授業でも、実践するかは別だと思います。何が安全で、そうではないのか、危険なことを繰り返しアナウンスするのがいいと思う。
- ・ わかりやすく動画を使った授業があればいい
- ・ 学校のタブレットで、ゲームなど勉強に関係のないコンテンツは見れないようにした方がいいと思います。
- ・ 全年齢向けのコンテンツを提供してるサイトで性的な広告を流さないでほしい。時にそういったコンテンツを見ることもあるが、常に見たいわけではない。アダルトサイトで「あなたは 18 歳以上ですか？」との問いにはいい、もしくはいいえと答えさせる年齢確認の方法は意味がない。多くの子供が嘘をついているだろう。ただし、性的なコンテンツが表示される前に、そういったサイトであることを示す必要はあると感じる(こうやって適切に配慮を行っているサイトにまで刑法 175 条を適用する必要はない) 無意味な年齢確認より、意味のある性教育を行うべきだ
- ・ 良くないものがどんな物か例を示してくれたり、良くないと思われるサイトや動画、コメントに印などをつけてくれるサービス
- ・ 実際にインターネットをする
- ・ 個人情報や載せない 安易に知らない人の話を信用しない
- ・ 授業で教えてもあまり改善しないような気がするので、国としての制限を設けるのも悪くはないと思います。ですが、オーストラリアのように全て制限を設けるのは厳しいと思うので、何時間までかを指定する制限などはやって良いと思います。また、フィルタリングについて、本当に害のあるサイト以外は開けるようにしてほしいです。
- ・ 誹謗中傷やセンシティブな話題に関して投稿しようとした際にその投稿をブロックする仕組み
- ・ 情報モラル、ネットリテラシーについての授業、どのようなサイトにアクセスしたのかがわかるようにする、フィルタリング機能を必ず使うようにする
- ・ 海外で行われていように性的な広告を禁止する法律を作って頂きたいです。授業は、情報やネットリテラシーの時間で学ぶのと、闇バイトや犯罪について学習している今のままで大丈夫だと思います。
- ・ 犯罪に知らないうちにまきこまれるのでその啓蒙活動
- ・ まともに機能するフィルタリング機能、形骸化した通報機能では無く機能する通報機能する機能整備の義務化、特定の特性がある方を排除するような投稿の処罰化
- ・ sns を題材にした映画などをみて学ぶ
- ・ LINE で悪口を書いたらその人のアカウントが凍結される。
- ・ 子供が使う端末にはいかがわしい広告を表示させない。ネットを使い過ぎるとどんな悪影響があるかを伝える。知らない人とはアカウントを交換できない仕組みを作る。ネット依存になった時に頼れる場所

があると良い。

- ・ シュミレーション的な感じの疑似 SNS 被害体験
- ・ スマホの危険性とのくらいまでなら使ってよいのか。入力した情報はどこかに保存されているのか等。
- ・ フィルタリングサービスなどをスマホ利用者やその親に教える。ネットに関する悪い例を、実例とともに子どもへ伝える。
- ・ 具体例や使い方などを踏み込んで教える。
- ・ 子どもたちが解除できないようなセーフサーチやフィルタリングをかける。(国や企業が)
- ・ デジタル庁や文部科学省、こども家庭庁などが連携してガイドブックを作成する。

Q12 インターネットと上手に付き合うために工夫していることや、心がけていることがあれば教えてください。

- ・ 少しでも相手が不快になりそうなメッセージは一度考えてから送信する
- ・ 自分がフレンドリーでいること。
- ・ メッセージを送信する前に違う意味で受け取られないか確認する
- ・ 時間を決める。今の年齢で使える機能を制限している。
- ・ わからない
- ・ 1日の使用時間を決めている。
- ・ 投稿しない
- ・ 実際に言ってダメなことは言わない。
- ・ たまに YouTube を見るときに、時間が経つと目が悪くなるのでタイマーで時間を計ってタイマーがなったら YouTube を見るのをやめて遠くを見えています。
- ・ 発言内容や著作権の配慮、規約の確認。ただ、漫画の一コマだけといった軽微な利用や、二次創作まで法律で取り締まる必要があるのかと思った。それと、過敏すぎるのもあるが規約を常に意識しすぎて疲れてしまった。
- ・ 信用出来るか、自分のためになるか考えてから利用するようにする
- ・ 思いやりのないことをしない
- ・ 個人が言っている不確定な情報は信用しない
- ・ 開くサイトをあらかじめ決めておく。
- ・ 時間を決めている
- ・ 時間制限
- ・ スマホには Instagram 入れずに、家に置いているタブレット端末に入れることにより、外で長時間スマホを見ることのないようにしている
- ・ あくまでもインターネットは匿名の世界で誰もその発言に対し、重い責任は感じていないと認識すること
- ・ 自分から発信する情報は、確実な情報をもとにした主観的な意見のみにするが、できるだけ発信はしない
- ・ インターネットはあくまで趣味、調べものをする時は出典元、更新時間、事実確認をすることです。

- ・ 特になし
- ・ 1日3時間以上使えないように設定している。
- ・ スクリーンタイムを使っている、タイムロックコンテナを使っている
- ・ 勉強するときはスマホを手元に置かない。学校ではスマホの電源を切る。個人が特定されるような投稿をしない。夜遅くや長時間見過ぎない。
- ・ 鵜呑みにせず、一歩引いた視点で接する
- ・ どのくらいあったかを視覚化して見えるようにしてる。
- ・ 知らない人からのメールなどを受けたらブロックする。全てのSNSを非公開アカウント(通称鍵垢)にしている。メッセージ送信前に文面に主語があるかやニュアンスの確認をしている。
- ・ ネットと現実の距離を近づけすぎない
- ・ 時間を絶対に決めて、守る。
- ・ 全てを鵜呑みにしない

Q13 そのほか、こどもが安全に安心してインターネットを使える方法を考えている大人に対して、何か伝えたいことがあれば教えてください。

- ・ 子供のネットの使い方についての確認を取るようにしたほうが良いと思う
- ・ 「使わないの。」って時間を制限することと言わんといてな！
- ・ 規制をするときはどうしてそうしたのかをわかりやすく説明して欲しい
- ・ 妥協をせず、厳しく制限をかけてほしい。
- ・ 早く規制してください
- ・ こどもには、大人の声は届きにくい。
- ・ 大人達へ子供に制限をかけても子どもは必ず突破していきます。なのでみんな大人たちが目を配る環境を作ってください。
- ・ 大人もインターネットをよく見ているので、そこは大人も気をつけた方がいいと思います。
- ・ ルールを明確に決めて、学校の授業などで伝える。個チャの内容拡散はよくないのか、何時までSNSを使っているのかなどははっきりと決めてほしい。
- ・ 個人情報保護委員会は個人情報提供の同意に必要な年齢を15歳以上にしようとしているが、外国での実例を見るに15歳以下の子供が多くインターネットサービスから排除されるという結果で終わると思う (Youtube や X(旧 Twitter)ではそういった法律の影響か、13歳未満の者は規約上サービスを利用できない) また、法律で年齢による時間制限を定めても結局その年齢以下の者が上記同様に、多くのサービスから排除されるか、運営会社が海外にあれば対応されないこともあるだろう。このように年齢制限の結果、企業の都合で子供がサービスから排除されるといった不利益が生じかねない。法律による年齢制限には反対 子供に限った話ではないが、利用規約やプライバシーポリシー(以下まとめて規約と呼びます)は利用者の権利義務が記された大切なものであるが、多くの者がその全文を理解せず(できずに)に同意していると感じる その多くが非常に長く、かつ複雑な法律文書であり一般の大人ですら読んで完全に理解するのは難しいように感じる。子供にできるとはとても

思えない。規約を読む、理解するよう規約内で促している物も多く見受けらるが、事業者の説明責任を利用者自らの努力で果たすよう押し付けてるよう感じられ無責任に感じる 多くの規約が消費者の無知や交渉力の差を利用し、利益を得る(責任の免除や事業者側の解除条件の緩和等)詐欺や強要のような形になっており、問題に感じる 規約への同意を含んだ契約は一部の例外を除いて未成年単独ではできず、親(法定代理人)の同意を得る必要がある。多くの企業は未成年者解除の行使を防ぐためか、規約内に未成年者は親の同意を求める条項を入れている サービスの利用一つ一つに親の同意が必要となると、親がインターネットの利用に厳しい等、子供によって格差が生まれてしまうのでは ただし、多くの子供たちは親の同意や規約なんて気にせず勝手にアカウントを作ってると思うが 多くのウェブサイトで用いられる Cookie の(半)強制的な、黙示的な同意取得をやめてほしい。 質問とはそれてしまいますが、回答フォームを Enter キーで送信されるようにはしないでほしいです。改行時に意図せず送信してしまいかねません。 長文お読みいただき、ありがとうございました。

- ・ インターネットが悪い物だと決めつけないで欲しい
- ・ 思いやりのないことをしない
- ・ ルールを決めすぎないようにしたら良い。
- ・ 高校生以下とまとめて考えるのではなく、小学生、中学生、高校生、と区切って制限を検討したり、政策を考えてほしいです考えてほしいです。高校生が闇バイトに引っかかっているのも事実ですが、年齢を重ねるにつれて、その世代の平均的なメディアリテラシーの高さは上がっていくと思うので。
- ・ 子どもをインターネットから離そうとするのではなく、あくまでも適切に使えるネットリテラシーを育ませる教育に切り替えていくべきだと思う。もうすでに子どもは大人が思うよりインターネットに触れてしまっているので、いまさら離れた所でネットを使える年齢になると、ネットリテラシーのない大人になってネットに戻り、より危険な投稿・発言を繰り返すだけだと思う。
- ・ 子供というのは自分だけで何かを達成することが好きです。大人はしてほしくなくても子供がしてしまうのはそういう理由があるからです。そこで、何か、インターネットにおける成功体験を与えるウェブページがあればよいのではないかと思います。
- ・ スマホが当たり前の子達に、インターネットを禁止するのではなく、どう巧く扱うか教えてあげてほしいです。
- ・ 大人もスマホを控えてください
- ・ 大人にモラルが無い方が居るので、世代は関係ないと思います。
- ・ 親が勝手にネットに関して時間などを制限すると、子供は隠れて使ったり、解除したりするので、きちんと話し合い、インターネットの良い面も悪い面も話し合った上でルールを決めないといけない。
- ・ 一概に子供と言っても色々な人がいる
- ・ 歩きスマホの人だらけで交通の危険がすごい増えたように感じる。もっと学校でそういったルールとかを教えて欲しい。
- ・ ネット広告などに未成年未満は見てはいけない内容のものがあるので、そのような広告を制限する法律や仕組みを作って欲しい。(妹など兄弟に貸してあげられないから)

- ・ 経験が大事だから最低限度のことだけ定めるのがいい
- ・ 規制があまあま、がばがばすぎる。子どもたちの安全のためにもちゃんと規制するものはしてください。世論はついてきます。
- ・ ただ子供たちを縛ればいいということではない。インターネットによって、表現する楽しさや生きる希望を持った子供たちが全国にたくさんいると思う。子供たちが大人になってもインターネットはある、SNSはもっと進化している。そう言った世の中で何が正しくて何が正しくないのかを自分で判断できるネットリテラシーを初等、中等、高等教育で子供たちにきちんと身につけさせていくことがあなた方の使命だと思う。家庭内でも縛りつけすぎないルールを決めてください。